

**高岡の森弘前藩歴史館
令和3年度第1回
ロビーコンサート**

▼とき 5月16日(日)

午後2時~3時

▼ところ 高岡の森弘前藩歴史館(高岡字獅子沢)

▼内容 フュージョン(ジャズを基調にロックやクラシックなどを融合させた音楽)グループによるウインドシンセサイザーの演奏

▼出演 M-Session



▼定員 25人(先着順)

※事前の申し込みが必要。

▼参加料 無料(ただし観覧料が必要)

▼観覧料 一般=300円/高校・大学生=150円/小・中学生=100円

※障がい者、65歳以上の市民、市内の小・中学生や外国人留学生、ひろさき多子家族応援パスポートを持参の人は無料。年齢や住所を確認できるもの提示を。

間 5月1日(土)以降に、高岡

弘前駅に駅ピアノを設置しました

弘前駅自由通路2階に、誰でも自由に演奏できる駅ピアノを設置しました。弘前駅を訪れた際には、ぜひピアノに触れてみてください。

▼演奏可能時間

午前7時~午後11時

※演奏前後の手指の消毒など、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防にご協力ください。

間観光課(☎ 40-0236)



の森弘前藩歴史館(☎ 83-3110)へ。

鳴海要記念陶房館の催し

【秋田英一日本画展「津軽野の四季】

▼とき 4月29日(木・祝)~5月5日(水・祝)の午前9時~午後4時

※4日(火・祝)も開館します。

【電動ロクロ体験】

▼とき 5月14日(金)~16日(日)の午前10時~午後3時



※所要時間は約45分。予約優先。当日受け付けも可。

▼内容 電動ロクロを使った器づくり

▼講師 佐藤学さん(津軽千代蔵窯)

▼体験料 1,800円(飲み物付き)

【こぎん刺し体験と小物販売】

▼とき 5月9日(日)・23日(日)の午前10時~午後3時(受け付けは午後2時30分まで)

▼内容 岩木かぢらす会による体験指導・販売

▼体験料 250円~(コースターなど)

間 鳴海要記念陶房館(賀田字大浦、☎ 82-2902、火曜日は休み)

有料広告

発掘調査速報展

史跡整備や住宅建築などに伴い、遺跡の発掘調査を実施した成果を公開します。

▼とき 9月30日(木)までの午前9時~午後5時(変更の場合あり)

▼ところ 旧弘前市立図書館(下白銀町)2階展示コーナー

▼内容 堀越城跡(堀越字川合)、長沢遺跡(八幡字長沢)、大浦城跡(五代字早稻田)、史跡津軽氏城跡弘前城跡長勝寺構(西茂森1丁目)、史跡大森勝山遺跡(大森字勝山)の出土遺物や写真パネルの展示

▼観覧料 無料
間 文化財課埋蔵文化財係(☎ 82-1642)

教室・講座

郷土文学館の催し



【北の文脈文学講座】

▼とき 5月15日(土)午後2時~3時

▼ところ 2階ラウンジ

▼テーマ 永住の地 五所川原と千空(せんくう)

▼講師 斎藤美穂さん(元「俳人・成田千空研究会」調査研究員)

▼定員 15人(先着順)

有料広告

▼受講料 無料(ただし観覧料が必要)

▼申し込み方法 電話か郷土文学館受付で申し込みを。
※あおもり県民カレッジ単位認定講座。

【第1回文学忌「平田小六】

平田小六(ひらたこうろく)に関する特別展示を行います。

▼とき 5月15日(土)~21日(金)

※忌日の18日(火)は無料開館。

▼ところ 1階ロビー
~共通事項~

▼観覧料 高校生以上=100円/小・中学生=50円

※障がい者、65歳以上の市民、市内の小・中学生や外国人留学生、ひろさき多子家族応援パスポートを持参の人は無料。年齢や住所を確認できるもの提示を。

間 郷土文学館(下白銀町、☎ 37-5505)

エンディングノートを使って作成のコツを学びます。

▼とき 5月15日(土)午後1時30分~2時30分

▼定員 10人(先着順)

▼参加料 550円(テキスト代として)

▼申込期限 5月14日(金)



【被災地支援活動10年の軌跡】

サンタハウス弘前の10年にわたる東日本大震災被災地支援活動について発表します。被災地支援活動のパネル展も常時公開中です。

▼とき 5月29日(土)午後2時~3時

▼定員 16人(先着順)

▼参加料 無料

▼申込期限 5月28日(金)

~共通事項~

▼ところ サンタハウス弘前公

園(元大工町)

▼対象 50歳以上の人

※50歳未満の人は要相談。

間 サンタハウス弘前公園(☎ 88-7707)

**市民ボランティアによる
パソコン講座**

学ぶ市民のためのパソコン講座です。

▼とき 6月1日(火)・8日(火)の午前10時~午後3時
※2日間で1セットの講座。

▼ところ 総合学習センター(未広4丁目)

▼内容 インターネットの利用方法など

▼対象 文字入力およびキーボード・マウスの操作ができる市民=16人(先着順)

▼参加料 無料

▼持ち物 筆記用具、昼食

間 5月9日(日)以降に、学習情報館(総合学習センター内、☎ 26-4800)へ。



Hirosaki Art Times

ヒロサキ・アート・タイムズ #2

弘前れんが倉庫美術館に関する情報を連載します。

間 弘前れんが倉庫美術館(吉野町、☎ 32-8950)

■ <https://www.hirosaki-moca.jp/>

土手町からもほど近く、芝生が広がる緑地には、ほっとひと息つけるベンチも。春のお出かけにぴったりな弘前れんが倉庫美術館では、4月10日(土)から展覧会「りんご宇宙—Apple Cycle / Cosmic Seed」を開催しています。この場所ならではのアート鑑賞を楽しんでみませんか。

※車で来館する場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。

提携駐車場(上土手町駐車場、アウトエア弘前、したどてスカイパーク、三井のリパーク弘前桶屋町、三井のリパーク弘前桶屋町第2)の利用で、運転手と同乗者1人に限り、展覧会の観覧料は団体料金が適用されます。／障がい者と付き添いの人(1人)、65歳以上の市民、高校生以下の人や市内の外国人留学生、ひろさき多子家族応援パスポートを持参の人はいつでも観覧料無料。年齢や住所を確認できるもの提示を。

